



VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com



For the future of
Yokohama

2012

安心と活力ある横浜を!

横浜市会公明党はめざします

震災対策の拡充・強化

- 小中学校等の公共施設の耐震補強
- 大規模災害時に一元的な情報運用を可能にする(仮称)「被災者支援システム」の構築
- 土壌や食品の放射線対策の推進

子育て支援・教育の充実

- 小児医療費助成制度の対象を小学校6年生まで拡大、所得制限を撤廃
- 中学校昼食の充実
- 保育コンシェルジュのさらなる充実

健康社会の構築

- 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種を継続
- アレルギー対策の充実
- 高齢者・障がい者の孤立化の防止

横浜経済の活性化

- 若者雇用支援策の充実
- 中小企業の経営支援策の充実

新春企画

皆さまの暮らしをサポート!

公明党 政策かるた

う ちの耐震、大丈夫?

- ◎地震防災の第一歩は「わが家」の耐震性強化です。
- ◎住宅の無料耐震診断
(昭和56年5月以前竣工のもの)
- ◎耐震補強工事補助金の増額
(平成26年3月末までの時限)
- ◎家屋の一部を補強する耐震シェルターや防災ベッドの助成金
問い合わせは、
〔建築局建築企画課〕
電話: 671-2943



防災ベッド

エ コ社会、一人ひとりが 立役者

- ◎持続可能な社会への転換のため、毎日の暮らしの中で「エ」活を続けることが大切です。
- ◎G30(ゴミ削減)からヨコハマ3R夢(発生源抑制、再利用、資源化)へ、循環型社会のバージョンアップを推進
- ◎電気を無駄なく使う暮らし方(ホームエネルギーマネジメントシステム HEMS)の導入等に助成
- ◎産業分野でのグリーンエネルギーへの転換



ダ イエット、無理なく皆で健康社会

- ◎「健康長寿社会」「幸福社会」の原点は「一人ひとりに適した体重管理から始まります。」
- ◎家庭・地域・事業者・行政で取り組む「食育」
- ◎大腸や女性特有のがんの無料検診クーポンで予防を促進
- ◎子どもから高齢者まで気軽にスポーツに親しむため、地域の環境整備を推進



少 子社会。子育て支援で明るい未来

- ◎公明党の取り組みで、待機児童の減少や多様な育児支援制度の充実に加え、胆道閉鎖症や不育症への支援が前進しました。
- ◎小児救急電話相談(2011/11/17) (イイオサン) (イイオサン) (228-1103)
- ◎産科あんしん電話(2011/11/19) (イイオサン) (228-1199)
- ◎救急医療情報センター(2011/11/19) (イイオサン) (#7499)



う きょうきと、皆が集まる街づくり

- ◎多様な観光資源にあふれる横浜の魅力を外に発信し、地域の活性化をめざします。
- ◎アフリカ開発会議など大型国際会議、観光客、企業の誘致
- ◎歩いて暮らせるコンパクトな街づくりと商店街の活性化
- ◎活発な市民活動を展開できる各区の区民利用施設の充実



第4回 アフリカ開発会議の様

リ ードし守る、若者雇用と中小企業

- ◎厳しい経済環境下では、雇用の確保と地域経済の活性化が何よりも求められています。
- ◎若者等の就職活動を支援する「ジョブマッチングよこま(要申込)フリーダイヤル: 0120-945-451
- ◎「横浜市中小企業振興基本条例」の適切な運用
- ◎相談は (財)横浜市中小企業支援センター 電話: 225-3700



横浜市をダブル選定!

国家プロジェクトとして全国の自治体から募集していた「環境未来都市」及び「国際戦略総合特区」に、公明党が推進してきた横浜市の2つの提案が選定されました。



理化学研究所 横浜研究所(鶴見区)



(写真提供 横浜市)

環境未来都市
環境問題や高齢化社会などに対応する先進的なモデルとなる都市として、低炭素なまちづくりの実現に取り組みます。

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区
がん・生活習慣病などの予防のための革新的医薬品や医療機器の開発に取組み、国の特区制度を活用しながら、横浜経済の活性化につなげていきます。

次の時代に向けて災害に強い支え合いの社会を目指す

環境未来都市に向けて第一歩!

昨年12月22日、横浜市の「環境未来都市」の提案が、国家プロジェクトとして選定されました。環境問題や高齢化社会などに対応する施策の先進的なモデルとなる都市を国が選定し様々な支援を行うものです。

昨年2月には仁田まさとし市議が、横浜市会の予算代表質疑において「環境未来都市」への取り組みを主張し、3月には目指す姿を提案しています。

今後横浜市は、具体的な計画の策定を進めるとともに、改善すべき制度の提案などに取り組むことになります。



公明党横浜市会議員団
南区政務調査事務所長
横浜市議員

仁田まさとし

仁田まさとし市議の提案(2011年3月) 環境未来都市の目指す姿

低炭素社会の構築を進め、少ないエネルギーでの生活を可能にします。

太陽光発電などの再生可能なエネルギーを活用し、低炭素社会の構築を進めます。

① 太陽光発電、バイオマス、太陽熱利用などの新エネルギーや燃料電池などの普及を促進します。これにより原子力発電の依存率を下げ、世界的に行われている計画停電などの電力不足対策を回避することができます。

② 日本型次世代電力網(スマートグリッド)を整備し、電力融通によるエネルギーの最適化、情報通信技術によるエネルギーマネジメントを可能にします。

③ 補助金制度などを充実し、電気自動車の本格的な普及を進めます。電気自動車を蓄電機器として活用することにより、家庭やオフィスの効率的な電力利用を可能にします。

■ **省エネ生活は、少子高齢人口減少社会に必要な福祉、子育て、教育を下支えします。**

政策的な拡充がさらに求められる福祉、子育て、教育の分野を、コストを拡大することなく充実します。

① 実用化が進む介護ロボットの利用は、同じコストでも介護を充実させることが可能となります。

② 先進的な医療に必要なエネルギーを充足させます。

③ 電力使用の最適化により、例えば学校の空調設備は最小限の電力で運用可能になります。

④ 小児、高齢者、障害者の移動バリアを取り除く技術の利用を促進します。

⑤ 社会構造の変化は生涯教育の充実を求めます。

■ **技術開発により新たな産業が生まれ、先進の景気・経済対策となります。**

既存要素技術のアレンジや新技術の研究開発で、既存産業の活性化や新たな産業の創出が促進され、先進的な景気・経済対策が構築されます。

① 既存技術の応用や新技術の導入で既存産業を活性化します。

② 新技術の研究・開発は、新たな産業を生み雇用を拡大します。

③ 海外に開かれた人材、技術の交流により、観光・コンベンションが活性化します。



横浜が目指す環境未来都市のイメージ

★: 支え合い拠点 ———: ネットワーク (情報+エネルギー)